

平成 30 年 5 月 8 日

各位

共催 名古屋テキスタイル研究会

名古屋市工業研究所

平成 30 年度 第 1 回研究会(講演会)開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は当研究会に対し何かとご支援賜り、厚く御礼申し上げます。

30 年 6 月に講演会を下記の通り開催いたします。

ご多忙とは存じますが、ぜひご出席下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 平成 30 年 6 月 7 日 (木) 14:00~16:40

場 所 名古屋市工業研究所 電子技術総合センター1 階 視聴覚室 (裏面地図参照)
名古屋市熱田区六番 3-4-41
(名古屋市営地下鉄 名港線 『六番町』 下車、3 番出口より徒歩 2 分)

講演 1 「ケミルミネッセンスによるポリプロピレンの評価と繊維評価の可能性」 14:00 ~15:15

講師：(一財) 化学研究評価機構 高分子試験・評価センター 嶋田 剛志 氏

【要旨】ケミルミネッセンス：化学反応時の極微弱な発光現象。プラスチックの酸化反応によって生成した過酸化物からの微弱な発光を検出し酸化による劣化程度を極初期段階から評価する方法が J I S 化された。この手法を化学繊維やリサイクル繊維の世界で活かす事は出来ないかと想像を膨らませてみる。

講演 2 「染料/繊維分子間相互作用におよぼす染着部位環境の影響」 15:25 ~16:40

～羊毛の酸性媒染染料染色におよぼす重亜硫酸ナトリウム処理の作用機構を題材として～

講師：椋山女学園大学 教授 上甲 恭平 氏

【要旨】現在、羊毛の酸性媒染染料染色では、重クロム酸塩による媒染処理後に還元性を有する重亜硫酸ナトリウム処理が行われている。本講演では媒染染色での染色性におよぼす重亜硫酸ナトリウム処理の作用機構について調べた結果を題材として、染着部位の微環境変化が染料/繊維分子間相互作用にどのように影響を及ぼしているかについて、最近の知見の基づいて考えてみることにする。

問合せ先： 御幸毛織株式会社 四日市工場 古川 竜生 070-6413-7335
名古屋市工業研究所 有機材料研究室 大岡 千洋 052-654-9885

* 会員以外の方は、資料代として 2,000 円が必要となります。

* 学生の方は無料、下記申込書の会社名・所属を学校名・学科名に変えて申込みください。

* 参加ご希望の方は準備の都合上、必ず事前にお申込み下さい。

申込み先：名古屋テキスタイル研究会 FAX (052) 661-0158

「第 1 回研究会(講演会)」参加申込書 (申込締切 6 月 1 日) 非会員用

参加者名	
会社名・所属	会社名 所属
TEL / FAX	/
E-mail	
メールマガジン (NMIRI 技術ニュース) の配信を【 希望する ・ 希望しない 】	
※当所の事業やイベント情報等を月 1 回配信しています。	

※ ご記入頂きました個人情報、受講者への連絡・講師への情報提供などの講演会目的、(希望者への)メルマガ配信以外には使用いたしません。



名古屋市工業研究所
〒456-0058
名古屋市熱田区六番三丁目 4 番 41 号
電話番号：052-661-3161（代表）

